

平成24年度
京都文教大学
京都文教短期大学

教員免許状更新講習
夏期募集要項



申込受付期間

2012年6月3日(日)～6月13日(水)〈先着順〉

Webサイトまたはお電話からお申し込みください。

京都文教大学 実践教育サポートオフィス

平成24年度 京都文教大学・京都文教短期大学 教員免許状更新講習のご案内

ごあいさつ

平成19年6月の教育職員免許法改正により、平成21年度から教員免許更新制が新しく導入されました。

この制度を受け、京都文教大学・京都文教短期大学では「教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携教育についての理解に関する事項」(必修)および、「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」(選択)について講習を実施いたします。

本学の特色ある研究・教育活動の成果を活かした講習を通して、皆さまの知見を深めていただけることを願っております。

皆さまの受講をお待ちしております。



京都文教大学
京都文教短期大学

教員免許状更新講習一覧

- 各講習の詳細は該当ページをご覧ください。
- 講習はすべて宇治キャンパスで実施します。
- アクセスについては、裏表紙をご覧ください。

●必修領域 教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携教育についての理解に関する事項

講習No.	講習の期間	講習の名称	担当教員	定員	ページ
H01	平成24年 7月28日(土) 7月29日(日)	教育の最新事情(中学校・高等学校)	中村 博幸 竹口 等 永野 真子 吉村 夕里 島田 香	150人	P.7
H02	平成24年 7月28日(土) 7月29日(日)	教育の最新事情(幼稚園・小学校)	中村 博幸 竹口 等 田中 亨胤 張 貞京 河合 由里	150人	P.8

●選択領域 教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項

講習No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員	ページ
U01	平成24年 7月30日(月)	学校教育での芸術療法 (コラーージュ療法)の利用	教諭 養護教諭	幼稚園・ 小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	森谷 寛之	50人	P.9
U02	平成24年 7月31日(火)	教師と子どものための メンタルケア	教諭 養護教諭	小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	佐藤 安子 吉村 夕里	25人	

講習 No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員	ページ
U03	平成24年 8月1日(水)	子どもとかわる身体	教諭	幼稚園・ 小学校教諭	本山 益子	36人	P.10
U04	平成24年 8月3日(金)	日本考古学の最新研究成果 からみた日本史の新視点	教諭	中・高等学校教諭 (社会科、地理歴史科 担当教員)	山中 章	50人	
U05	平成24年 8月4日(土)	校外学習に活かす フィールドワーク	教諭	中・高等学校教諭	松田 凡 奥野 克己 佐藤 知久	50人	P.11
U06	平成24年 8月5日(日)	学校事故 —その法的問題を考える—	教諭	幼稚園・ 小・中・ 高等学校教諭	樺 博行	50人	
U07	平成24年 8月6日(月)	メディア環境の下での 生徒指導と教育相談	教諭 養護教諭	中・高等学校教諭 養護教諭	高石 浩一	50人	P.12
U08	平成24年 8月7日(火)	教師と子どものための メンタルヘルス	教諭 養護教諭	小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	平尾 和之 松田 真理子	200人	
U09	平成24年 8月8日(水)	教員としての コミュニケーション能力を高める	教諭	幼稚園・ 小・中・ 高等学校教諭	森川 知史	150人	P.13
U10	平成24年 8月9日(木)	組織と個人のマネジメント —生徒の元気が出るクラスづくりのために—	教諭	小・中・ 高等学校教諭	渡辺 峻	50人	
U11	平成24年 8月9日(木)	表現療法を通じて学ぶ教師と 子どもの自己理解と心身調整	教諭 養護教諭	幼稚園・ 小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	濱野 清志	50人	P.14
U12	平成24年 8月23日(木)	教員の アセスメント能力を高める	教諭 養護教諭	小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	島田 香 細越 寛樹	30人	
U13	平成24年 8月23日(木)	食育の重要性と 実践力を高める取り組み方	教諭	小・中学校教諭	村上 俊男 森 美奈子 福田 小百合	30人	P.15
U14	平成24年 8月24日(金)	不登校家族支援ノート	教諭 養護教諭	幼稚園・ 小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	今井 暁弒	30人	
U15	平成24年 8月25日(土)	幼稚園における 発達障害児とその親への支援	教諭	幼稚園教諭	三林 真弓	15人	P.16
U16	平成24年 8月26日(日)	指導困難な事例への 「処方箋」の作成	教諭 養護教諭	小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	佐藤 安子	25人	
U17	平成24年 8月26日(日)	生徒指導・教育相談に生かす 新しい児童生徒の理解	教諭 養護教諭	小・中・ 高等学校教諭 養護教諭	香川 克	50人	P.17

※免許状の更新には、必修領域12時間及び選択領域18時間(合計30時間)の講習を受講・修了する必要があります。

本学ですべての講習を修了するには、必修領域1講習及び選択領域3講習を受講し、修了認定試験に合格する必要があります。

※同一講習を複数回受講することはできません。昨年度と同名の講習は基本的に同一内容となりますので、履修証明書で履修済みの講習をご確認の上、お申し込みください。

受講申し込みから履修認定までの流れ

受講申込は全て先着順で受け付けます。下記の流れに沿って、Webもしくはお電話からお申し込みください。

注意事項

- 先着順の受け付けとなりますので、特に受け付け初日はWeb・お電話ともに混雑する恐れがあります。また、Web申し込みとの時間的な兼ね合いから、お電話からのお申し込み時にはすでに定員に達している講習がある場合があります。あらかじめご了承ください。
- 他の受講希望者のご迷惑となりますので、受講の意志が不確定な段階での仮押さえや、受講が必要な講習数以上の大量予約はおやめください。
- 予約期間終了後に学校行事等やむを得ない事情で受講を辞退される場合には、必ずお電話にてご連絡ください。
- 受講料の納入や書類の返送等の期限は厳守してください。やむを得ない事情で期限に遅れる場合には、必ずお電話にてご連絡ください。

Webから

1 利用者登録

〈登録期間〉5月1日(火)～6月13日(水)

〈利用時間〉6:00～24:00

〈URL〉<http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

京都文教大学・京都文教短期大学のホームページから教員免許状更新講習サイトに入り、左のcontentsから「更新講習システム」にお入りください。

新規に利用者の登録を行い、IDを取得してください。→詳しい登録方法はP.5をご覧ください。

※昨年度以前にご登録いただいた方も、新たに今年度のIDを取得してください。

Telから

1 講習予約

〈受付期間〉6月3日(日)～6月13日(水)

〈受付時間〉9:00～17:00

〈TEL〉0774-25-2433

京都文教大学実践教育サポートオフィス

※6月9日(土)・10日(日)は業務を行っておりません。

お電話にて、受講を希望される講習名および講習Noをお伝えください。空き状況を確認し、予約後、受付番号をお知らせします。

※講習はすべて先着順で受け付けします。
※受講のご意向が不確かな段階での仮押さえやキャンセル前提の予約はご遠慮ください。

2 講習予約

〈受付期間〉6月3日(日)～6月13日(水)

〈利用時間〉6:00～24:00

〈URL〉<http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/>

1.で取得したIDとメールアドレス・パスワードを使ってログインし、講習ごとに予約を行ってください。→詳しい予約方法はP.6をご覧ください。

※講習はすべて先着順で受け付けします。
※受講のキャンセルは、予約申込期間内はWebから可能ですが、受講のご意向が不確かな段階での仮押さえやキャンセル前提の予約はご遠慮ください。
※予約申込期間後のキャンセルは、必ずお電話にてご連絡ください。

2 FAXで予約内容確認票を送信

〈FAX送信先〉

京都文教大学 実践教育サポートオフィス

FAX: 0774-25-2498

電話での予約後、申し込み内容確認のため、募集要項P.22の「予約内容確認票」に必要な事項を記入し、FAXを送信してください。

※受講をキャンセルされる場合は、必ずお電話にてご連絡ください。

Webから



Telから



3 受講者登録票等受領 6月20日頃、本学よりご登録いただいたご住所宛に発送します。
①受講者登録票 ②受講対象者証明書 ③受講料振込依頼書 ④事前アンケート など



4 受講料の振り込み 7月4日(水)納入期限
本学から送付する振込依頼書に記載された銀行口座へ受講料をお振り込みください。
※やむを得ない事情で受講を辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



5 書類の送付 7月4日(水)締切(本学必着)
①受講者登録票 ②受講対象者証明書 ③受講料納入領収書 ④事前アンケート
※やむを得ない事情で受講を辞退される場合は、必ずお電話にてご連絡ください。



6 受講案内および受講票等の受領 7月10日頃、本学より発送します。
受講案内および受講票等の書類を送付します。



7 講習受講 7月28日(土)~8月26日(日)
講習当日は、必ず受講票を持参してください。



8 履修証明書受領 9月30日までに、本学より発送します。
各講習終了時の修了認定試験の結果により、履修が認定された講習の履修証明書を送付します。
※夏期のすべての講習終了後、まとめて発送します。
※免許更新の手続きに関するお問い合わせは、勤務地の都道府県教育委員会(現職教員以外の方は、住所地の都道府県教育委員会)へお願いいたします。

Webから 利用者登録(個人情報の登録)方法

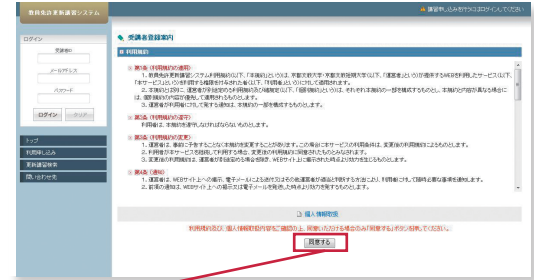
〈利用者登録期間〉2012年5月1日(火)～6月13日(水) 〈システム利用時間〉6:00～24:00
 更新講習のページから「更新講習システム」へお入りください。
 〈URL〉https://koshin.kbu.ac.jp/menkyo-cucmsys-web/

① 利用申し込み



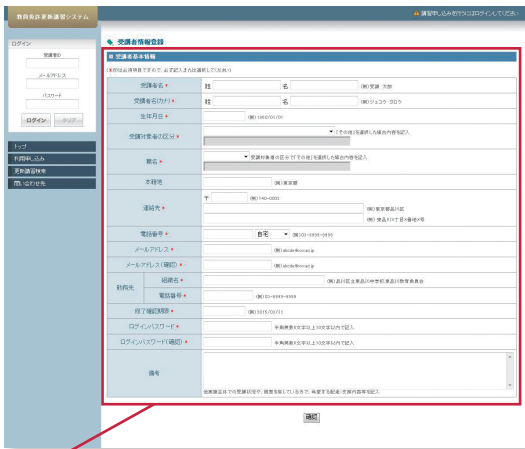
画面左側の【利用申し込み】をクリックしてください。

② 利用規約・個人情報取扱内容の確認



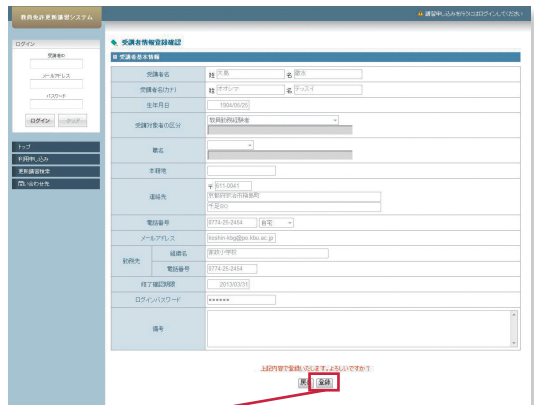
画面の利用規約および個人情報保護について内容を確認し、同意いただける場合、【同意する】をクリックしてください。

③ 受講者情報登録



必須項目(*のついた項目)の入力をしてください。ここで入力されたメールアドレス及びパスワードは、本システムへログインする際に必要となりますので、忘れないようにしてください。

④ 登録情報の確認



入力が完了したら【確認】ボタンを押してください。エラーが出た場合は、エラー内容が表示されますので修正してください。エラーがない場合は、登録情報の確認画面に移ります。内容に間違いがなければ【登録】ボタンを押してください。

⑤ 登録完了



ログインに必要な受講者IDが発行されます。今後ログインする際に必要となりますので、必ず控えてください。メールによる通知は配信されませんのでご注意ください。

Webから 講習予約の方法

〈受付期間〉2012年6月3日(日)～6月13日(水) 〈システム利用時間〉6:00～24:00
更新講習のページから「更新講習システム」へお入りください。
〈URL〉<https://koshin.kbu.ac.jp/menkyo-cucmsys-web/>

① ログイン



画面左側のログイン欄に受講者ID・メールアドレス・パスワードを入力して、システムにログインしてください。

② 講習の検索



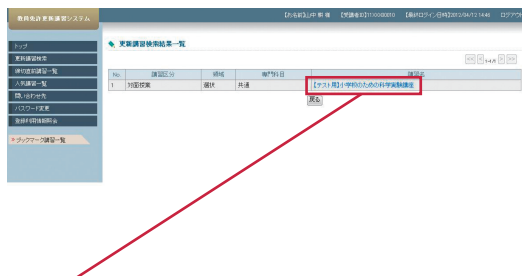
画面左側のメニューから【更新講習検索】をクリックして、講習検索画面に移動してください。

③ 検索条件入力



講習を指定せずに全て表示する場合は、なにも入力せずに【検索】ボタンをクリックしてください。

④ 検索結果一覧



検索結果が表示されますので、予約をしたい講習の【講習名】をクリックしてください。

⑤ 予約



画面の一番右下にあるアクション欄の【予約する】をクリックしてください。※すでに定員に達している場合には、【キャンセル待ち】となります。キャンセル待ち登録をする場合はクリックしてください。

⑥ 申込確認



受講申込規約の確認後、申込内容の確認画面が表示されます。お申込される講習に間違いがなければ、【予約確定】をクリックしてください。複数の講習を予約される場合は、この流れを繰り返してください。

講習No.
H01
必修

教育の最新事情(中学校・高等学校)

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年7月28日(土)・29日(日)**

受講料 **12,000円**

定員	時間数	試験方法		
150人	12時間	筆記試験	担当講師	中村 博幸(臨床心理学部臨床心理学科教授・教職担当)
				竹口 等(臨床心理学部臨床心理学科教授・教職担当)
				永野 貴子(総合社会学部現代社会学科准教授・教職担当)
				吉村 夕里(臨床心理学部臨床心理学科教授)
				島田 香(臨床心理学部臨床心理学科講師)

講習の概要

「教職についての省察」、「子どもの変化についての理解」、「教育政策の動向についての理解」、「学校の内外での連携協力についての理解」の4つの領域に関する教育課題について、最新の状況や動向を元に、学校教育全体からの視点と中等教育(中学校・高等学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は中学校及び高等学校教諭とする。

備考

講習の一部を、講習No.H02と合同で行います。

平成24年7月28日(土)

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:50~12:20(90分)	3限 13:20~14:50(90分)	4限 15:05~16:35(90分)	5限 16:50~17:20(30分)
学校を巡る近年の状況変化と教育政策の動向 「学校に求められるもの、教師に求められるもの」	子どもの生活の変化を踏まえた課題 「子どもと社会のインタラクティブ性」	学校における危機管理 「情報化と都市化(反地域化)の中での子どもの安全」	生徒の心の発達と教育相談	修了認定試験

平成24年7月29日(日)

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:45~12:15(90分)	3限 13:15~14:45(90分)	4限 15:00~16:30(90分)	5限 16:45~17:15(30分)
学力向上を核とした学校・家庭・地域の連携	配慮を要する子どもたちへの環境アセスメント	教員としての子ども観・教育観	子どもの実態を踏まえた道徳・特別活動の指導	修了認定試験

※講習の内容および時間割は変更する場合があります。
※確定版の時間割は、受講票発送時にお知らせします。

講習No.
H02
必修

教育の最新事情(幼稚園・小学校)

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成24年7月28日(土)・29日(日)

受講料 12,000円

定員	時間数	試験方法	担当講師
150人	12時間	筆記試験	中村 博幸(臨床心理学部臨床心理学科教授・教職担当)
			竹口 等(臨床心理学部臨床心理学科教授・教職担当)
			田中 亨胤(兵庫教育大学名誉教授・京都文教短期大学非常勤講師)
			張 貞京(京都文教短期大学幼児教育学科講師)
			河合 由里(京都文教短期大学幼児教育学科講師)

講習の概要

「教職についての省察」、「子どもの変化についての理解」、「教育政策の動向についての理解」、「学校の内外での連携協力についての理解」の4つの領域に関する教育課題について、最新の状況や動向を元に、学校教育全体からの視点と初等教育(幼稚園・小学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は幼稚園及び小学校教諭とする。

備考

講習の一部を、講習No.H01と合同で行います。

平成24年7月28日(土)

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:50~12:20(90分)	3限 13:20~14:50(90分)	4限 15:05~16:35(90分)	5限 16:50~17:20(30分)
学校を巡る近年の状況変化と教育政策の動向 「学校に求められるもの、教師に求められるもの」	子どもの実態を踏まえた道徳指導の基底	教員としての子ども観・教育観	特別支援教育に関する新たな課題	修了認定試験

平成24年7月29日(日)

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:45~12:15(90分)	3限 13:15~14:45(90分)	4限 15:00~16:30(90分)	5限 16:45~17:15(30分)
子どもの発達への理解と子どもの育ちに対する支援の重要性	学力向上を核とした学校・家庭・地域の連携	子どもの生活の変化を踏まえた課題 「子どもと社会のインタラクティブ性」	学校における危機管理 「情報化と都市化(反地域化)の中での子どもの安全」	修了認定試験

※講習の内容および時間割は変更する場合があります。
※確定版の時間割は、受講票発送時にお知らせします。

講習No.
U01
選択

学校教育での芸術療法(コラージュ療法)の利用

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年7月30日(月)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 幼稚園、小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

コラージュとは、雑誌やパンフレットなどの既成の絵や写真をはさみで切って、台紙の上で構成し、糊で貼り付けるシンプルな方法である。これを講師は1987年に箱庭療法を参考にコラージュ療法として提案した。以後、教育・医療・福祉・矯正分野で広く用いられている。本講習ではコラージュ制作実習を通じて方法を学び、教員自身が自分でその効果を確かめる。また、この体験をもとにして、生徒の作品をよりよく理解できるようにする。生徒とのコミュニケーションとして芸術療法が利用できることを学んでいく。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
コラージュ療法とは コラージュ療法を発想したいきざつとその基本的な考え方を示す。美術教育との違いなども説明する。	コラージュ制作実習 実際に自分でコラージュ制作をする。	作品のふりかえり 作品を通じて自分の気持ちを表現してみよう。生徒理解の方法を説明する。	作品の理解の仕方 子どもたちの作品を通じて、生徒理解を深めよう。精神発達と作品の変化を理解する。	修了認定試験 どれくらい理解できたかを振り返る。

備考

本講習はコラージュ制作を行います。不要になった雑誌やパンフレットなどを2、3冊・糊・はさみをご持参ください。

講習No.
U02
選択

教師と子どものためのメンタルケア

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年7月31日(火)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
25人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

学校は学習の場であると同時に、教師、子ども、その家族の相互作用が生み出す人間関係の現場でもあります。したがって、教師の仕事には「教育」のみならず「対人援助」の仕事が否応なく含まれるようになっていきます。本講習では、個々の教師が晒されているストレスとその対処法に対する洞察を深めると同時に、教育現場における子どもやその家族に対する相談援助の在り方をグループワークや演習を通して実践的に学ぶことを目的とします。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:50(100分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:10(50分)	5限 15:20~16:10(50分)	6限 16:30~16:50(20分)
ストレス発生の仕組み 様々なストレスモデルを紹介するとともに、人間がストレス反応を生じるまでのプロセスについて理解する。	ストレスプロファイリングの作成 ストレスの自己調整の仕方についての質問紙を用いてストレスプロファイリングを個々に作成し、自らがどのようにストレスを取り扱っているのかについて日常業務や生活の仕方に照準を合わせながら理解する。	学校という場における集団力動 生徒や父兄対応について実際の事例をとりあげたグループ討議を行うと同時に、学校現場における対人援助場面のプロセスレコードを作成して生徒や父兄に対する適切な対応についての洞察を深める。	学校現場の対人援助の実際(その1) 学校現場の対人援助をめぐる課題について具体的な事例をとりあげてロールプレイ演習を行う。	学校現場の対人援助の実際(その2) プロセスレコードに基づいたロールプレイ演習を行い、学校現場における対人援助の実際について理解を深める。	修了認定試験

講習No.
U03
選択

子どもとかわる身体

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成24年8月1日(水)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	本山 益子(京都文教短期大学幼児教育学科教授)
36人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 幼稚園・小学校教諭

講習の概要

教育者が人的環境であることは周知のことである。子どもが言葉ではなく身体で訴えている何かを感じると同時に、安心できる雰囲気醸し出して、子どもに対応できる教育者の身体性について検討したい。具体的には、身体で他者と響きあうこと・つながることを実感するために、ゲームや身体表現遊びを行う。さらに、教育現場でのエピソードを手がかりとした演習によって検討を深めたい。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~12:10(120分)	3限 13:10~15:10(120分)	4限 15:20~16:20(60分)
他者と響きあうこと、 つながることを実感する実技	歌やイメージを手がかりにした 身体表現遊びの実践	教育現場における教育者の 身体性についての講義と演習	修了認定試験

備考

実技は、動きやすい服装・汗をかいてもかまわない服装に着替えてください。体育館シューズとタオルをご用意ください。

講習No.
U04
選択

日本考古学の最新研究成果からみた日本史の新視点

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成24年8月3日(金)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	山中 章(三重大学人文学部特任教授・京都文教大学非常勤講師)
50人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 中・高等学校教諭(社会科、地理歴史科担当教員)

講習の概要

近年の日本考古学の研究成果にはめざましいものがある。全国で実施されている発掘調査による新資料が新たな研究を促すからである。最新の研究成果には教科書を書き換えるほどのものも含まれている。本講習ではこうした最新の研究成果を資料によって概説し、学校教育に補助的資料を提供することを目的としている。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
自然科学と考古学・人類学 ~人はいつどこで生まれたのか~ 現代の人類の祖先はどこで生まれたのか。皮膚の色の違いや言語の違いはいつどの様に始まったのか?こうした課題に解決の糸口を付けたのがDNA鑑定という最新の生物学的研究成果であった。また、歴史的時代の年代はどの様に導き出されるのか。これもまた放射性炭素同位元素の半減期を利用した14C AMS法が最新の成果を提示している。その結果、日本の弥生時代は500年も古くなるという。教科書には載らない最新の研究成果を紹介する。	宮内庁管理「天皇陵」はどれが本当なのか 宮内庁は畝傍山東北陵を「神武天皇陵」とする。しかし、これ自体が「墓」であるか否かに始まって、事実は闇の中である。そもそもその存在すら明かではない「陵墓」は別としても、そのほとんどは考古学的な研究成果と合致しない。では本当の大王「天皇」墓はどこにあるのだろうか。その代表例が高槻市今城塚古墳である。宮内庁所管継体天皇三島監野陵との比較から分析してみよう。	古代日本の国境はどこだったのか 世界中の国々で国境問題は極めて現実的な政治・外交問題である。日本もまた例外ではない。では、奈良時代、日本の律令国家はどこからどこまでを「日本」と考えていたのだろうか。それを探るヒントが発掘調査によって明らかになりつつある。北海道式古墳と呼ばれる9世紀初めの「古墳」と、鹿児島県喜界島の城久遺跡群である。なぜこの地を国境と考えるのか、最新の資料から考えてみよう。	平安時代は長岡京時代だった わずか10年の都・長岡京。中山修一氏の執念の発掘調査によって解き明かされた都の規模・構造は、それまでの長岡京像を一変させるものであった。桓武天皇は長岡京から新しい時代を始めようとした。山背国に初めて本格的な都を作ったこと、山崎津を玄関とする海とつながった都が完成したこと、カラフルな食器が用いられ始めたこと、...等々。新しい時代の幕開けを告げた長岡京の謎にせまる。	修了認定試験 4限までの授業の概要を問う試験を実施。

講習No.
U05
選択

校外学習に活かすフィールドワーク

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成24年8月4日(土)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 中・高等学校教諭

講習の概要

文化人類学的フィールドワークを、中等教育の校外学習、たとえば研修・修学旅行や総合的学習、体験学習に活かすには、どのようにすればよいのだろうか。本講習では、国内外でのフィールドワーク経験豊富な講師が、小・中・高等学校との連携の事例を提示し、また参加者どうしのディスカッションを通じて、教材としての応用可能性をともに探ってみたい。

1限 9:00~9:50(50分)	2限 10:00~10:50(50分)	3限 11:00~11:50(50分)	4限 12:50~13:30 (150分、途中10分の作業(インターバル))	5限 15:40~16:40(60分)
文化人類学とフィールドワーク概観 文化人類学とは、および研究技法としてのフィールドワークについて概観し、高大連携(高校・修学旅行におけるFW活用)の事例を報告する。	大学におけるフィールドワークの実際と効果 転換・導入教育と2年次のフィールドワーク実習を題材にフィールドワークの教育的効果について紹介する。特に、そのプロジェクト学習がもたらす脱・科目、総合的成長について具体的に掘り下げてみたい。	フィールドワークからコラボレーションへ 大学の授業で行っている、エチオピアとの教育を通じた国際交流活動を事例に、地域社会やNGOとの連携による、発展的フィールドワークの試みについて話す。	フィールドワークを教育現場でどのように活かすか? (ディスカッション) 教育現場におけるフィールドワークの意義、小・中・高校におけるフィールドワークとその特徴、文化人類学的フィールドワークから応用できること、できないこと、などについて、受講者全員と講師の間で、ディスカッションを行う。	修了認定試験 記述形式。校外学習におけるフィールドワーク教育の可能性と問題点を問う。

講習No.
U06
選択

学校事故 —その法的問題を考える—

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成24年8月5日(日)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 幼稚園、小・中・高等学校教諭

講習の概要

近時学校現場では、児童・生徒が様々な事故に遭遇しています。この状況に教師が直面した場合に心がけていただきたい法的な事項があります。そこで、学校内で事故が発生した場合のスムーズな対処のために、具体的な事例を用いながら講義を通じてこれらを解説します。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
学校トラブルにおける法律関係 学校の事故や事件で適用される民法と国家賠償法についてお話しします。	校内・校外授業でのトラブル 校内・校外授業で発生する事故や事件に関する法的関係をお話しします。	授業時間外・放課後に発生するトラブル 授業時間外・放課後に発生する事故や事件に関する法的関係をお話しします。	児童生徒間の暴行・教師の加害行為によるトラブル・修了認定試験 いじめや暴行、体罰やしごきによって発生するトラブルの法的関係をお話しします。この講義の最後に修了認定試験40分を行います(講義時間を含む)。

講習No.
U07
選択

メディア環境の下での生徒指導と教育相談

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成24年8月6日(月)

受講料 6,000円

対象職種 教諭、養護教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

ケータイ、インターネットの普及に伴って、学校教育の現場では、新たな問題が次々と生じてきています。ネット依存やネットいじめ、出会い系サイトやSNSをめぐる問題など、メディア環境の進展に伴って、対応に頭を悩ませておられる先生方も多いのではないのでしょうか?個々の新しい問題について知見を深めると共に、最新の問題についてゼミナール形式で議論を深め、教職員としての対応のありかたについて研修します。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:30(100分)	4限 14:40~15:40(60分)	5限 15:50~16:30(40分)
児童生徒を取り巻くメディア環境について 児童生徒を取り巻くメディア環境について、最新の情報をもとに知見を深めます。	児童生徒にかかわるメディア問題について 学校現場で起こっている問題や生徒指導上のトピックなど、特定のテーマを取り上げてさらに突っ込んだ理解を目指します。	学校現場におけるメディア指導について 学校現場で起こってくるメディア関連の具体的な事件や出来事について、小グループによるディスカッションやワークを通して、指導にあたってのコンセンサスの確立を目指します。	メディア環境の下での学校教育と家庭教育 学校でやるべき教育、家庭で行うべき教育、家庭と学校で協力して行うべき対応など、昨今のメディア環境の下で家庭と学校との間の望ましい連携体制の確立に向けて理解を深めます。	修了認定試験

講習No.
U08
選択

教師と子どものためのメンタルヘルス

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成24年8月7日(火)

受講料 6,000円

対象職種 教諭、養護教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
200人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

小・中・高校時代は、様々な対人関係を通して社会性を身につけながら、一方で「自分らしさ」という個性を形成していく心理的課題に満ちた時期です。この時期には、身体的・社会的にも大きな変化をとめない、精神的不調が起こりやすくもあります。本講習では、この時期に子ども達が直面する様々な心理的課題や精神的不調、そして子ども達を育み守る教師自身のメンタルヘルスについて、その理解と具体的対応・援助を学びます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:35~11:55(80分)	3限 12:55~14:15(80分)	4限 14:30~15:50(80分)	5限 16:05~16:55(50分)
子どもの発達課題と心の不調 学童期・思春期の各年代における発達課題と心の不調についてエリクソンのライフサイクル理論と精神医学の観点からお話いたします。	学校現場における課題と具体的対応 学童期・思春期の子どもの精神的不調に対する具体的対応、学校現場での課題、父母への対応と支援、医療機関との連携、教職員自身のメンタルヘルスなどにつき、演者のスクールカウンセラーとしての経験を踏まえながらお話いたします。	教師の精神的不調の理解と援助 教師に起こりやすい精神的不調(ストレス関連、不眠、不安、うつ)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話いたします。	子どもの精神的不調の理解と援助 学童期・思春期の子どもに起こりやすい精神的不調(発達障害・虐待にともなう問題、自律神経症状、不安・うつ、摂食障害、そしていま話題の精神科病棟体験まで)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話いたします。	修了認定試験

講習No.
U09
選択

教員としてのコミュニケーション能力を高める

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月8日(水)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
150人	6時間	筆記試験	

森川 知史(京都文教短期大学ライフデザイン学科教授)

主な受講対象者 幼稚園、小・中・高等学校教諭

講習の概要

本講習では、コミュニケーションのあり方について考える。複雑な「意味」を交換するのが人間だが、その「意味」はどのように生まれ、どのように人の中で動くのかを考えたい。ここでは、教員に求められるコミュニケーション能力をテーマとし、コミュニケーション能力を伸ばすにはどうすればよいかについても言及したい。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:45~12:15(90分)	3限 13:15~14:45(90分)	4限 15:00~16:30(90分)
コミュニケーション能力とは コミュニケーションの能力が求められる時代背景について。「コミュニケーション能力」とは何か。	記号的存在 ことばだけで行われるのではないコミュニケーションの本質について。	教員に求められる コミュニケーション能力 コミュニケーションと人間関係の不可分性について。	まとめ・修了認定試験

講習No.
U10
選択

組織と個人のマネジメント —生徒の元気が出るクラスづくりのために—

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月9日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	

渡辺 峻(総合社会学部現代社会学科教授)

主な受講対象者 小・中・高等学校教諭

講習の概要

「組織と個人」の調整の問題は「組織行動論」の名のもとに、一定の研究結果が蓄積されている。この知識は、企業組織であろうと、学校組織であろうと、組織リーダーには不可欠である。この講習では「組織と個人」の問題、特にモチベーションやリーダーシップのあり方を理論的に整理して、「クラスと生徒」の調整および教員のリーダーシップ強化や生徒のモラルアップ強化に役立てることを目標とする。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:10(60分)	3限 11:20~12:20(60分)	4限 13:20~14:20(60分)	5限 14:30~16:00(90分)	6限 16:10~16:40(30分)
「組織と個人」の マネジメントの3モデル 「組織と個人」のマネジメントの3つのモデル、生徒が「成長」する組織とは、モチベーションの原理とは何か。	モチベーションと 組織リーダー 古典的な考え方と新しい考え方の比較、校長・教頭の満足か、生徒のヤル気をいかに引き出すか。	リーダーシップと 組織リーダー 生徒の元気を引き出すリーダーのあり方、民主的参加型リーダーとは何か、生徒の自律・自立をいかに支援するか。	個人重視の 逆ピラミッド型組織 フォード社組織やアメリカ陸軍組織から学ぶ「組織と個人」の新しいマネジメント(DVD)。	「組織と個人」の マネジメントの 最新動向：まとめ 「洗濯機を造る前に人を創る」、現場の個人が主役の企業組織の普及、成果主義では成果が出ない、学校組織は遅れている(DVD)。	修了認定試験

講習No.
U11
選択

表現療法を通じて学ぶ教師と子どもの自己理解と心身調整

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月9日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師	濱野 清志(臨床心理学部臨床心理学科教授)
50人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 幼稚園、小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

本講習では、心理的、身体的にハードな教師の日常生活を安定的に過ごすための一助として、教師自身がそれぞれ自分自身を見つめ、自己理解を深め、同時に、心身のバランスを自己調整する基本を、描画表現、気功による身体表現などを通して、体験的に理解できるようにします。また、教師自身の体験的理解をもとに児童生徒の生活上の自己理解と自己調整を促進する手立てを学びます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
表現療法とは 臨床心理学における表現療法の基本的な考え方を概説し、そのひとつとしての描画法を経験する。	表現のなかの主観的体験 表現の中の主観的体験に気づき、他者と話し合うことによって表現主体としての自分自身のありようをみつめる練習をする。	身体表現としての気功 気功を例として、身体表現を行い、からだを整えることによって、心と身体の関係を見つめなおす作業をする。	心身調整としての気功 3限に引き続き、気功を通じて心身調整のあり方を体験的に学ぶ。	修了認定試験

備考

本講習は実技を行います。動きやすい服装、上履きをご持参ください。

講習No.
U12
選択

教員のアセスメント能力を高める

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月23日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師	島田 香(臨床心理学部臨床心理学科講師) 細越 寛樹(臨床心理学部臨床心理学科講師)
30人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

本講習では教育現場でも使えるアセスメントをテーマにし、なかでも言語的なアセスメントと非言語的なアセスメントを取り上げます。前半は、言葉のやり取りによって状況や状態を把握するツールを紹介し、ロールプレイによって実践的に学びます。後半では、描画によるアセスメントとして実際にバウムテストを体験します。自身の体験および理論や事例をもとに、描画にどんな意味があるのか、描画から何が読み取れるのかについて検討します。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:40(90分)	3限 12:40~13:55(75分)	4限 14:05~15:20(75分)	5限 15:30~16:30(60分)
言語的なツールを用いたアセスメント法の理解 アセスメントのためのツールを紹介し、その理論的背景や実践のためのポイントについて講義を行う。	言語的なツールを用いたアセスメント法の実践 グループでロールプレイを行い、アセスメントする側とされる側の両方を体験する。また、その体験をグループおよび全体で共有して理解を深める。	バウムテスト体験 集団法によるバウムテストを体験したあと各自で振り返りを行う。ペアになってフィードバックのあり方も検討する。	バウムテストの事例と理論 事例についてグループディスカッションを行う。講義ではバウムテストの理論や解釈について解説する。	修了認定試験

講習No.
U13
選択

食育の重要性と実践力を高める取り組み方

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月23日(木)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
30人	6時間	筆記試験	

村上 俊男(京都文教短期大学食物栄養学科教授)
森 美奈子(京都文教短期大学食物栄養学科講師)
福田 小百合(京都文教短期大学食物栄養学科講師)

主な受講対象者 小・中学校教諭

講習の概要

- 子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ、食を通じて「生きる力」を育むための食育の重要性について、児童・生徒の食生活及び健康状況の現状や食育授業の事例を示して講義する。
- 習得した知識が日常の食生活で実践できるよう、「食の安全・安心」、「食事作り」という2つの視点から具体的な取り組み方法について講義・演習する。

1限 9:00~10:40(100分)	2限 10:50~12:30(100分)	3限 13:30~15:30(120分)	4限 15:50~16:30(40分)
児童・生徒の食生活および健康状況の現状と食育の重要性 ①児童・生徒の食生活および健康状況の現状と問題点 ②食育の重要性と食育授業に必要な知識 ③食育授業実践の事例	食の安全・安心とは ①食の安心・安全およびリスクについて ②食情報や食品表示を用いた食育の実践例	バランスの良いおいしい食事とは ①カードバイキングを用いた望ましい食事のとり方 ②「おいしさ」について	修了認定試験

備考 電卓をご用意ください。

講習No.
U14
選択

不登校家族支援ノート

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月24日(金)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
30人	6時間	筆記試験	

今井 院弉(臨床心理学部臨床心理学科教授)

主な受講対象者 幼稚園、小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

不登校は、「これまでの生き方、価値観では生きることが難しいので、立ち往生し、自分に見合った新しい生き方、考え方を発見しようとしている時期」と一応定義づけ、そして、学校担当者と協力しつつ、親を支援することにより、親が安定すると、家族の雰囲気(家族布置)が安定し、子どもの変容を促進する、と考えて、約40年臨床実践してきました。親と子の変容プロセスを分類し、それぞれについて説明していきたいと考えています。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:10(60分)	3限 11:20~12:20(60分)	4限 13:20~14:20(60分)	5限 14:30~15:30(60分)	6限 15:40~16:40(60分)
不登校支援のプロセス支援による変容プロセスを3分類して説明します。	不登校生の心理的特徴自己疎外的見捨てられ行動について説明します。	不登校の母親援助と人間くさい心の体験I 甘え欲求の充足と表と裏について詳細に説明します。	不登校の母親援助と人間くさい心の体験II 偽りの自己と攻撃性について詳細に説明します。	学校教師へのコンサルテーション過程よりコンステレーションの把握と問題解決のための武器の獲得について詳細に説明します。	修了認定試験

講習No.
U15
選択

幼稚園における発達障害児とその親への支援

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月25日(土)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
15人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 **幼稚園教諭**

講習の概要

就学前の保育園や幼稚園において、発達障害児が持っている特有の言動に困難をきたす保育士や幼稚園教諭は少なくない。本講習では、さまざまな事例を通して、発達障害の特徴を捉え、その対応について皆で検討したいと考えている。事例提供者の希望があれば事前に申し受けたい。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
子どもの発達を知る 通常の子どもの発達段階についておさらいし、発達の程度を知る発達検査について紹介する。	発達障害を知る 子どもの発達障害をいくつか説明をし、それぞれ園での特徴的な言動について紹介する。受講者から事例がある場合には、この時間に受け付け、皆で検討をする。	子どもや親への支援を考える 発達障害がある子どもにどのように関わるか、またその親へどのような支援をするかについて、皆で考える。	修了認定試験 1から3限までの授業を踏まえた課題に対し、論述式の筆記試験を受ける。

講習No.
U16
選択

指導困難な事例への「処方箋」の作成

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月26日(日)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
25人	6時間	筆記試験	

主な受講対象者 **小・中・高等学校教諭、養護教諭**

講習の概要

初等・中等教育において、教師は様々な指導困難事例に遭遇する。子どものメンタルヘルス不全だけでなく、生活指導上の問題、保護者対応の問題、学校内外の連携の問題など多岐にわたる。こうした事例に対応するために、認知行動的介入を利用した柔軟な対応策作りとその実施が役立つと考えられる。本講習では、この対応策を「処方箋」と名づけ、具体的な事例を複数例呈示し、グループワークを通して問題対応の具体策を作成する。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:00(80分)	3限 13:00~14:00(60分)	4限 14:10~15:50(100分)	5限 16:00~16:30(30分)
学校現場での指導場面における対人関係 学校という場における対人関係のあり方を発達という観点から理解し、児童・生徒を指導する際に生じがちな課題を整理するとともに、こうした課題を認知行動論の立場からとらえることを試みる。	初等学校・中等学校における指導困難事例 似た「問題」でも、児童・生徒の発達段階やその問題が生じた力動性によって、問題の性質は異なる。教師が指導に困難を感じる事例について、ゲストスピーカーが話題提供し、受講者が感想を共有する。	指導困難事例への処方箋づくり1 ~ロールプレイ~ 模擬職員会議の準備として事例の問題点を共有するためのロールプレイをグループワークとして行う。提供された複数の事例からグループごとに最も関心の高い事例1つを選び、ロールプレイを行う。	指導困難事例への処方箋づくり2 ~模擬職員会議~ 職員会議を模したグループワークにおいて、事例の問題点を整理し対応策を協議する。協議結果を認知行動論の枠組みで再構築し、全受講者で共有することにより、指導困難事例への対応に必要な視点を、校種に特有なものと校種を越えて共通するものと整理する。	修了認定試験 筆記による認定試験を行う。

講習No.
U17
選択

生徒指導・教育相談に生かす新しい児童生徒の理解

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 **平成24年8月26日(日)**

受講料 **6,000円**

対象職種 **教諭、養護教諭**

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	香川 克(臨床心理学部臨床心理学科准教授)

主な受講対象者 小・中・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

学校臨床心理学・スクールカウンセラーの立場から学校現場に関わる中で、児童生徒の行動やこころへの理解が深まってきています。このような新しい知見を学校現場に即した形で示すとともに、児童生徒に対してどのように教育的に働きかけていくかについて考えを深めていきます。不登校・発達障害・いじめ・暴力・非行・自傷行為・保護者への関わりなどを取り上げます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:50(60分)
児童生徒理解と「こころ」の理解 学校現場の中で子どもたちを理解する上で、子どもたちの内界を理解していくことの重要性について論じます。学校臨床心理士(スクールカウンセラー)として私が活動する中で感じた、臨床心理学と学校教育のそれぞれの立脚点について理解を深められればと思います。	不登校の子どもたちの理解に向けて 近年、不登校の現れ方が急速に変化してきています。非行との境目がはっきりしなくなっているなど、これまでの「不登校=さなぎの状態」という理解だけでは対応できない場合も多いようです。こうした変化の背景となる社会的状況にも言及しながら、「新しい不登校像」の理解を目指します。	学習になじめない子どもたちの理解に向けて 教室での学習になじめにくい子どもたちに対して、「発達障害」の観点からの理解が深められています。実際に学校現場の中では、「発達障害」という要因と、それ以外の要因とは混在していて、理解と対応が難しい場合が多いようです。このような複雑な状況の中にいる子どもたちへの理解を目指します。	保護者への理解と関わりに向けて 子どもたちを抱える環境としての「家庭」の中に、様々な困難がある場合が確実に増加しています。その中で、保護者の方々も様々な苦勞をしておられるのですが、その姿は学校からはなかなか見えにくくなっています。保護者を理解しながら一緒に子どもたちのことを考えていくためには何か必要なのか、考えていければと思います。	修了認定試験

FAQ

システムに関するFAQ

Q 受講者ID、メールアドレス、パスワードを入力してもログインできません。

→ 大文字・小文字と全角・半角の別を正しく入力してください。
なお受講者IDは、「 12 kbu ●●●●●●」です。
(半角数字)(半角小文字) (半角数字)

Q 受講者IDやパスワードを忘れました。

→ お手数ですが、実践教育サポートオフィスまでお電話にてお問い合わせください。

Q 昨年度までに取得した受講者IDは使用できますか。

→ 年度ごとにIDが異なりますので昨年度以前の受講者IDはお使いいただけません。
新たに今年度のIDをご登録ください。

Q 講習のキャンセル待ちはできますか。

→ Webからのお申込では、定員に達した講習について【キャンセル待ち】をすることができますが、その後空きが出て自動的に繰り上がりません。お手数ですが、講習システムに随時ログインし状況をご確認の上、空きが出た講習については登録にお進みください。(大幅な定員追加や日程追加を行う場合には、キャンセル待ちをされている方に優先的にご連絡をいたします。)

講習に関するFAQ

Q 更新に必要な時間数を自由に受講してもいいですか。

→ 教員免許状の更新には、「必修」領域を12時間、「選択」領域を18時間の合計30時間の受講が必要です。例えば、「選択」領域のみで30時間を満たしても更新を受けることはできませんので、必ず「必修」と「選択」両方を受講してください。

Q 1つの大学で30時間分の講習を受講しなくてもはいけませんか。

→ 複数の大学でも受講することができます。例えば、「必修」領域の12時間分をA大学、「選択」領域のうち6時間分をB大学、12時間分をC大学で受講することも可能です。もちろん、1つの大学で全ての講習を受講してもかまいません。

Q 「対象職種」以外の職種でも受講できますか。

→ 受講は可能ですが、「対象職種」以外の職種の方が履修認定を受けても免許状の更新に必要な時間数を満たしたとは認められません。

Q 「主な受講対象者」以外でも受講できますか。

→ 受講可能です。ご自身の職種がその講習の「対象職種」に該当していれば、「主な受講対象者」に該当しなくても、免許状更新の対象となります。ただし、講習内容は「主な受講対象者」を想定した内容となりますので、ご自身で判断のうえお申し込みください。

Q 現在教職に就いていませんが受講できますか。

→ 現職教員でない方は、更新講習の受講義務はなく教員免許状が無効になることもありません。ただし、今後教職に就く際には、就職時点で更新を完了しておく必要があります。現職ではないが今後教職に就く可能性があり更新講習を受講したいという方は、お電話にてお問い合わせください。

Q 修了認定の有効期限はありますか。

→ 修了認定を受けた日から2年間有効です。複数年にわたって講習を受講される場合、一番早い修了認定日から2年以内に更新手続きを完了してください。

Q 教員免許状の更新手続きはどこで行うのですか。

→ 現職教員の方は勤務地の都道府県教育委員会、現職教員以外の方は住所地の都道府県教育委員会で、修了確認期限までに更新手続きを行ってください。

Q スクールバスは利用できますか。

→ 原則として講習開催日は、近鉄「向島」駅から本学までのスクールバスを運行しております。ただし、本数が限られますので、時間には余裕を持ってお越しください(スクールバスの時刻表は受講票発送時に同封します)。

Q 駐車場は利用できますか。

→ 学内には十分な駐車スペースがございませんので、原則として公共の交通機関をご利用ください。お身体に障がいがある方や怪我をされた方など特別な事情がある場合には、実践教育サポートオフィスまで事前にご連絡ください。

Q 大学の学生食堂は利用できますか。

→ 日程により営業している期間もございますが、学生が集中するため大変混雑いたします。できるだけ、各自で昼食をご持参いただくか、大学近隣の飲食店をご利用ください。

受講に関する注意事項

当日受付 について

- ・受講できるのは申込者本人のみです。代理受講はできません。
- ・受講には受講票が必要です。
- ・講習当日は各講習の開始30分前から教室を開場し、受付を開始します。
- ・申し込み後に送付する受講案内に記載されている教室へ直接お越しいただき、受付をお済ませください。
- ・原則として、遅刻・欠席は認められません。
- ・講習の一部あるいは全部を欠席された場合、試験を受けることができません。
- ・交通機関の乱れなどにより開始時間を繰り下げることがあります。
- ・不慮の事故などで欠席された場合の事後の取扱いについては、実践教育サポートオフィスにて判断しご連絡いたします。

受講上の 注意

- ・事前に準備物が示されている講習を受講される場合は、各自でご確認の上、当日持参してください。
- ・各講習の終了後、事後評価およびアンケートを実施しますのでご予約ください。
- ・受講中の録音・録画および写真撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・PHS等の電源は必ずお切りいただくか、マナーモードに設定しておいてください。
- ・キャンパス内での喫煙は、指定された場所でのみ可能です。学内の指示に従ってください。
- ・貴重品は各自の責任において管理してください。万が一盗難等の事故が発生した場合も、本学は責任を負いかねます。
- ・講習受講中(会場までの移動を含む)の保険は、受講者の判断により各自で加入ください。
- ・学内には十分な駐車スペースがございませんので、原則として公共の交通機関をご利用ください。
- ・当日は、原則として学生食堂は営業していません。昼食は各自ご用意いただくか近隣の飲食店をご利用ください。なお、昼食をご持参された場合には、教室を昼食場所としてご利用いただけます。

講習の中止 について

- ・天災や講師の病気等により、やむを得ず講習を中止・延期する場合は、ホームページにて速やかに告知するとともに、受講生個別にご連絡をいたします。
- ・交通機関の不通と暴風警報発表による場合の休講基準は下記の通りです。

■講習当日に次の交通機関が運行を中止した場合、終日休講とします。

対象交通機関	近鉄京都線
--------	-------

■講習当日に京都府南部地域において暴風警報が発令された場合、終日休講とします。

ただし、交通機関の運行再開および暴風警報解除の場合は、次の基準により講習を実施します。

運行開始の時刻および警報解除時刻	開始する講習	備考
7:00まで	予定通り実施	運行状況等で講習開始時間に間に合わない場合はご連絡・ご相談ください。
8:00まで	開始時刻を1時間ずらして実施	
9:00まで	開始時刻を2時間ずらして実施	
9:00以降	休講	

受講料等

- ・受講料には会場までの交通費、食費、宿泊費は含まれておりません。
- ・やむを得ない事情で受講を辞退される場合には、必ずお電話にてご連絡ください。
- ・原則として講習前日までに辞退の申し出があり、所定の手続きを取っていただいた場合は、振込済の受講料を返金します。
- ・返金の際には、1 講習につき事務手数料として 1,000 円を頂戴し、振込済の講習料から差し引いた金額を返金いたします。
- ・自己都合による講習当日の受講辞退の申し出については、返金の対象となりません。
- ・返金に際しては、本学所定用紙による申請が必要となります。返還手続を完了するまで日数がかかりますがご了承ください。
- ・返金申請時には入金を確認できる書類(領収書等)が必要となりますので、講習修了まで大切に保管してください。

障がいがある受講者の方へ

- ・障がいがある方や病気等により受講に特別な措置を希望される方は個別にご相談に応じます。必ずお申し込み前にご連絡いただきますようお願いいたします。



個人情報保護について

- ・お預かりします個人情報については、以下の目的に則して利用するとともに、本学の個人情報保護指針に基づき適正な保護に努めます。

利用目的	①応募に関する連絡および送付物発送 ②受講料の納入および管理 ③講習の実施・運営・修了認定 ④各種統計・調査・取組評価 等
------	--

- ・個人情報保護の観点から、講師や他の受講生の連絡先等のお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。
- ・本講習の記録のため、写真やビデオ撮影を行い、ガイダンスやWeb上で利用することがありますので、ご了承ください。
- ・本学の個人情報保護への取組の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

〈京都文教大学〉
<http://www.kbu.ac.jp/kbu/kojinjoho/kojinjoho.html>

〈京都文教短期大学〉
<http://www.kbu.ac.jp/kbjc/private/index.html>

「受講予約票」の記入例と記入の仕方

受付先着順の定員制につき、
まず電話で予約してください。

TEL:0774-25-2433

見本

太枠内の必要事項をみれなくご記入ください。

京都文教大学
実践教育サポートオフィス 宛

FAX:0774-25-2498

予約内容確認票 (FAX送信用)

受付先着順の定員制につき、まず電話で予約してください。 TEL:0774-25-2433

〈受付期間〉2012年6月3日(日)～6月13日(水)

受付番号	〇〇〇〇		
フリガナ	ブンキョウ キョウコ	性別	生年月日
氏名	文教 京子	男 女	19 68 年 9 月 18 日 (昭和 43 年)
住所	〒 611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80		
TEL	(自宅) 0774-25-〇〇〇〇 (携帯) 090-〇〇〇〇-XXXX	FAX	0774-25-△△△△
e-mail アドレス	(PC) koshin-kbg@po.kbu.ac.jp (携帯) koshin-kbg@docomo.ne.jp		
勤務(予定) 校名・機関名	〇〇府立 〇〇〇高等学校	教科	社会
講習No.	講習の名称	受講料	
H01	教育の最新事情(中学校・高等学校)	12,000 円	
U07	メディア環境の下での生徒指導と教育相談	6,000 円	
U12	教員のアセスメント能力を高める	6,000 円	
		円	
		円	
	合計	24,000 円	
備考 (考慮すべき事項があれば、 ここに記入ください。)			

電話予約時にお伝えする受付番号をご記入ください。

「生年月日」は、「(昭和 年)」もご記入ください。

FAXをお持ちの方はFAX番号もご記入ください。

「e-mailアドレス」をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。

現在担当されている主な教科をご記入ください。

「フリガナ」をお忘れなくご記入ください。

「TEL」欄は、必ずご連絡先をご記入ください。携帯電話をお持ちの方は携帯番号もご記入ください。

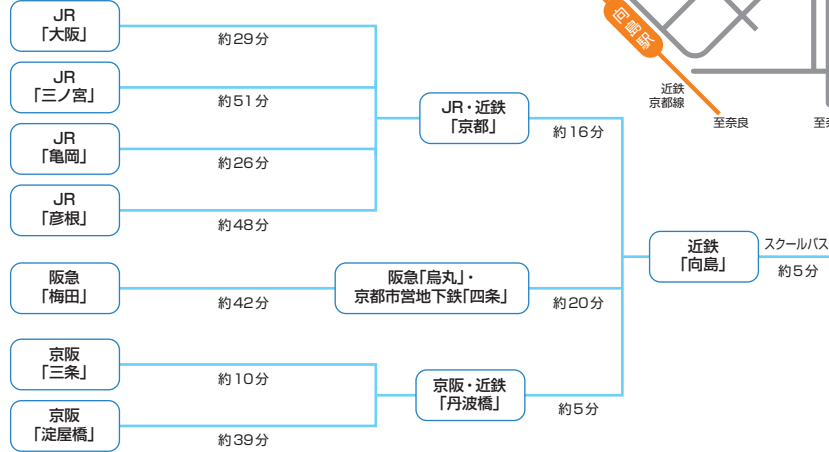
講習の予約をされた方は「講習No.」「講習の名称」「受講料」を間違いなくご記入ください。

アクセス

京都文教大学・京都文教短期大学 宇治キャンパス

京都府宇治市榎島町千足80 TEL:0774-25-2433

◆大阪・神戸・京都・滋賀方面から



◆奈良方面から



※近鉄京都線は京都市営地下鉄に乗り入れしています。 ※近鉄「向島」駅から本学のスクールバスが往復で運行しています。



〈問い合わせ先〉

京都文教大学 実践教育サポートオフィス

〒611-0041 京都府宇治市榎島町千足80 TEL:0774-25-2433 FAX:0774-25-2498

e-mail: koshin-kbg@po.kbu.ac.jp http://www.kbu.ac.jp/kbu/koshin/

受付時間: 月～金 9:00～17:00 (土・日・祝日および大学で定める業務休止日は窓口業務を行っておりません)